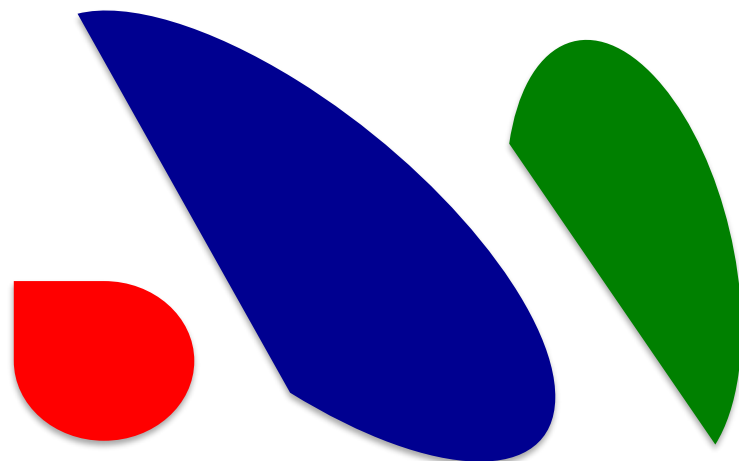


CS-Lung参加施設紹介

山口大学医学部附属病院 呼吸器・感染症内科の紹介



*Dept. of Respiratory Medicine
and Infectious Disease
Yamaguchi University*

内容

1. 病院と診療科の紹介
2. 初期研修のポイント
3. 呼吸器専門研修のポイント
4. 研修の実際について

病院と診療科の紹介

- 山口大学医学部附属病院（病床数756床）は「一人ひとりの健康と安心の探求と実現」を理念とし、あらゆる分野の疾患を専門的かつ総合的に診療できる山口県内唯一の特定機能病院です。
- 内科系診療科として、消化管内科、肝臓内科、胆道膵臓内科、循環器内科、腎臓・高血圧内科、膠原病内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、脳神経内科、呼吸器・感染症内科があり、先進救急診療センター、総合診療部や院内の多診療科、多職種との連携をはかり、専門的かつ幅広い研修が可能です。
- 呼吸器・感染症内科では専門的かつ総合的な診療の指導を行います。集学的治療を行うために関連する診療科や多職種と合同カンファレンスを行い、最新で最適の医療を提供します。診断や治療の知識を統合し「体系的に考える力を有する意思」すなわち「総合的な治療能力を有する呼吸器内科医」の育成を目指します。

山口大学・呼吸器・感染症内科について



松永教授

2015年7月に松永和人教授のもと、スタッフ4名で開設しました。
以後、毎年新入局員が増え・・・
2023年9月現在、合計31名の医師が在籍しています。



内容

1. 病院と診療科の紹介
2. 初期研修のポイント
3. 呼吸器専門研修のポイント
4. 研修の実際について

山口大学呼吸器・感染症内科**初期臨床研修**：ここがポイント！

- 肺炎、COVID-19、間質性肺炎、肺癌、喘息、COPD、呼吸不全など、急性期から慢性期まで、common diseaseから希少疾患まで、幅広い疾患を偏りなく経験できます！
- 膠原病等の様々な疾患に伴う肺病変や、介護・社会的支援が必要な症例を経験でき、他領域・多職種と連携した診療に深く関わるため、全人的な視点から診療を行う能力が身につきます！
- 問診・理学的所見の取り方や呼吸機能検査・胸部画像検査の解釈を丁寧に学ぶことができます！
- 気管支鏡や胸腔穿刺といった手技を経験することができます！
- 指導好きな上級医のもとで、プレゼンテーション能力や研究マインドを学ぶことができます！

初期研修医の研修目標

到達目標

- **呼吸器疾患の病態に対する、診断、治療、管理に関する基礎的な考え方を習得する。**

具体的目標

- 呼吸器診療に必要な病歴を聴取でき、主要徴候の理解と身体所見の取り方を習得できる。
- 病歴、主要徴候、身体所見から鑑別診断をあげることができる。
- 急性呼吸器症状を呈する患者の診察と対処法を習得できる。
- 動脈血液ガス、呼吸機能検査の結果を解釈できる。
- 胸部レントゲン、CT検査の基本的読影法を習得する。
- 気管支鏡検査、胸水穿刺、胸腔ドレナージ等特殊検査の手技を習得できる。
- 呼吸器主要疾患（肺炎、喘息、COPD、特発性間質性肺炎、肺癌）についてガイドラインに準じた診療を習得できる。
- 気管内挿管の基本的手技、人工呼吸管理の導入と管理法を習得できる。
- 病棟主治医となり、診察、診断、治療計画を立てることができる。
- 基本的な緩和治療ができる。
- カンファレンスで、適切なプレゼンテーションができる
- 結核を含めた感染対策の基本ができる。
- 他科への適切なコンサルテーションができる。

内容

1. 病院と診療科の紹介
2. 初期研修のポイント
3. 呼吸器専門研修のポイント
4. 研修の実際について

山口大学呼吸器・感染症内科**専門医研修**：ここがポイント！

- **呼吸器・感染症領域の幅広い分野の研修が可能です！**
- **個々の希望に応じた多様で柔軟な研修が可能です！**
- **専門分野や研究内容は医局員の意思が尊重され、自分で選択できます！**
- **伝統に縛られず医局員の様々なチャレンジを支援する気風があります！**
- **夜間・休日は完全当直制であり、オンオフのはっきりした働き方が可能です！**
- **チーム制による教育・研修体制の下、上級医からの指導・フィードバックを受けながら、外来から病棟まであらゆる診療を経験することができます！**
- **上級医の手厚い指導を受けながら学会発表、論文作成、臨床研究を行い、希望する専門医、学位の取得が可能です！**

内容

1. 病院と診療科の紹介
2. 初期研修のポイント
3. 呼吸器専門研修のポイント
4. 研修の実際について

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	抄読会 病棟・チーム回診	病棟・チーム回診	病棟・チーム回診	病棟・チーム回診	病棟・チーム回診
午後	気管支鏡検査	教授回診 新患カンファレンス 症例相談 研究カンファレンス	気管支鏡検査 胸部合同カンファレンス MDDカンファレンス	気管支鏡カンファレンス	気管支鏡検査

指導体制

- チーム制（全5チーム）、マンツーマンで指導します。
- チーム毎に症例の偏りなく、感染症や慢性呼吸器疾患、腫瘍など幅広い症例が経験できます。
- 臨床的な疑問が生じれば、カンファレンスや回診などですぐに話し合います。
- 症例の相談では若手から上級医まで活発に意見ができる環境です。



習得可能な手技

気管支鏡検査ではEBUS-GS、EBUS-TBNA、EWS、クライオ生検といった手技を習得可能です。
胸腔穿刺や胸腔ドレナージ、人工呼吸管理など呼吸器診療に欠かせない手技も習得できます。



気管支鏡検査



胸腔ドレーン挿入



人工呼吸器の管理



胸腔鏡検査

他にも
・胸腔穿刺
・呼吸機能検査
など..

学会発表・論文業績

国内外の学会に毎年積極的に演題登録をしています！
毎年多くの賞を頂いており、その成果である論文を発信し続けています！



論文業績 (pubMedへリンクします)

キャリアパスについて

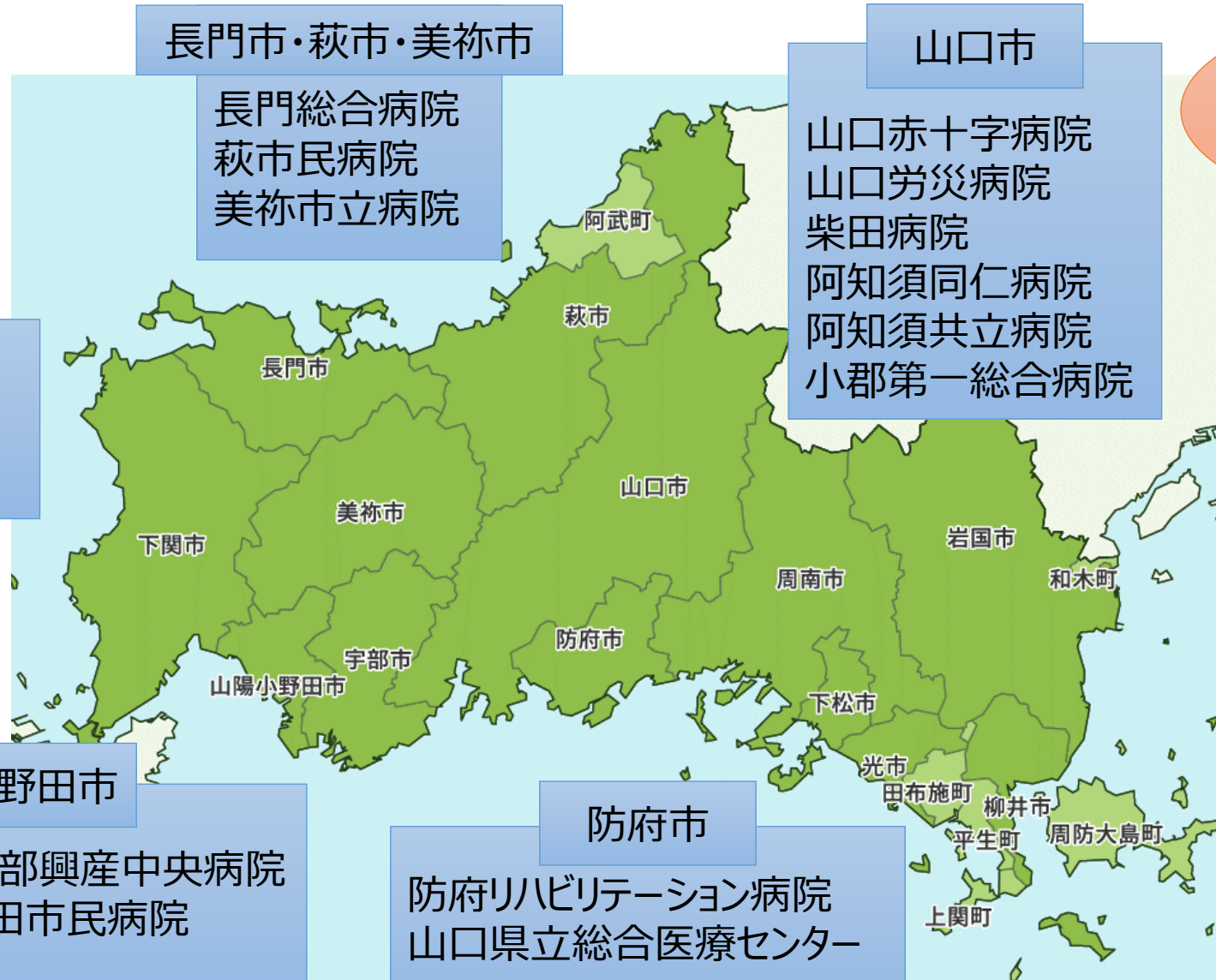
- ・個別に教授や医局長と相談の上、研修内容を決め、個々に応じたキャリアを支援しています。
- ・出産・育児・介護など多様なキャリアパスのニーズに対応しています。産後休暇を取り、育児をしながら、業務にあたることも可能です。

卒後 年数	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目 ～	
	初期研修		内科専門研修			呼吸器専門研修				大学院博士課程 (基礎講座/臨床講座)

取得可能な資格：
内科専門医、
呼吸器専門医、
気管支鏡専門医、
感染症専門医、
アレルギー専門医、
博士号（医学博士）
など

初期研修終了後は内科専攻医として必要時は各診療科をローテーション可能です。
同時に呼吸器専門研修も可能です。
また、希望者は大学院博士課程へ進むこともできます。

関連病院について



県内に多くの
関連病院があります。

周南市・下松市・
光市・柳井市

徳山中央病院
下松中央病院
周南記念病院
光市立光総合病院
周東総合病院

周防大島町

周防大島病院
大島東和病院

専攻医の声

入局して以降、上級医の先生方からご指導を受け、外来や診療に携わっています。チーム制で診療を行っていますが、チームの垣根を越えて相談させて頂くことも多いです。医局全体が一つのチームとして一体感を持って診療に臨むことができることが当科の魅力であると感じています。呼吸器内科の幅広い症例を数多く経験し、気管支鏡検査などの手技も多く経験することが出来ています。日々学びがあり、成長していると実感出来ています。

2023年 内科専攻医1年目 沖村昌俊先生



山口大学医学部附属病院 呼吸器・感染症内科

講座のホームページ <http://www.kokyuki.med.yamaguchi-u.ac.jp>

